

令和2年度 徳島県立名西高等学校経営計画

1 学校教育目標

- 1 本校の歴史と伝統を重んじ、知・徳・体の調和がとれた、誠実で民主的・創造的な実践力のある心身ともにたくましい人間を育成する。
- 2 生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすとともに、個人の尊厳と基本的人権を尊重し、民主社会の実現に貢献できる人間を育成する。
- 3 我が国の文化と伝統を尊重するとともに、平和な国際社会づくりに貢献できる人材を育成する。

2 学校経営基本方針

- 1 明日に輝く名高生～挑戦・協力・創造できる生徒の育成に努める。
- 2 「文化芸術リーディングハイスクール」による芸術科の活性化と地域に愛される学校づくりに努める。

3 本年度重点目標

- ① 基本的生活習慣の確立を図る生徒指導の充実
- ② 自他を大切にする心や態度を育成
- ③ 社会的自立のために必要な能力や態度の育成
- ④ 基礎的・基本的な学力の育成
- ⑤ 活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成
- ⑥ 地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進
- ⑦ 文化芸術活動における地域への積極的な創造発信
- ⑧ 防災・安全教育の徹底と環境教育の推進

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画	評価			
基本的 生活習慣の 確立を図る 生徒指導の 充実	①基本的な生活習慣の確立を図る 生徒指導の充実	生徒指導課 各学年主任	評価指標	① 遅刻者数を700人以下にする。(H30は818人, R1は718人)	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
				② スマホマナーアップ運動を充実させ、スマホが原因による特別指導を0にする。(R1, 0件)			(所見)
				③ 交通事故防止と交通マナー向上の指導を徹底させ、登下校における交通事故を3件以内にする。(R1は4件)			
		生徒指導課 各学年主任	活動計画	① 「遅刻ゼロの日」や「考査時の5分前登校」の取組を充実させる。また、遅刻カードで遅刻数や理由を確認し、個別に指導する。声かけ指導も毎朝実施する。	活動計画の実施状況	①	
				② スマホ安全教室の実施やクリアファイルの配布、ポスター掲示など啓発に努める。また、生徒会やPTAと連携を図る。		②	
				③ 登校時の立哨指導(毎日)、街頭指導(月1回)、交通安全街頭キャンペーン(年2回)、車体検査と通学別集会(年3回)、交通委員会による挨拶運動(月1回)を実施する。		③	

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画		評価			
自他を大切に する心や態度を 育成	②自他を大切に する心や態度を 育成	人権教育課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
			① 徳島県人権教育推進方針にしたがって人権教育を推進すると共に、さまざまな人権課題について教職員間で共通認識を持つ。	①				(所見)
			② 生徒一人ひとりの人権意識を高める活動を推進する。	②				
	③ 3年生対象の「人権に関する意識調査」で、人権課題に取り組む意欲を示す回答を9割以上にする。(R1年:95%, H30年:89%)	③						
	人権教育課	活動計画	活動計画の実施状況					
		① 各学年で人権HR活動検討会や人権教育研修会を計画・実施するほか、校外の各種研究・研修会に参加し、機会を捉えてその報告を行う。	①					
② 生徒会人権委員会による人権に関する取組を活発に行う。		②						
		③ 多様性や人権を尊重し、いじめ・差別を許さない生徒の意識や態度を育てる人権HR活動や人権映画鑑賞会・講演会等を行う。	③					
生徒指導課 特別支援			評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
			④ 学校いじめ防止方針に基づき未然防止に努め、いじめによる特別指導を0にする。(R1は0件)	④		(所見)		
			⑤ 生徒理解に努め、必要に応じた職員研修やケース会議が実施する。	⑤				
生徒指導課 特別支援			活動計画	活動計画の実施状況				
			④ アンケートを年2回実施し、早期発見に努める。また、いじめは絶対に許さないという姿勢を全校集会等で明確にし、生徒が相談しやすい環境をつくる。	④				
			⑤ 特別支援教育の視点で、生徒実態調査を、年1回行い、その結果を教職員研修会で情報共有する。支援が必要な生徒については、年間2回以上ケース会を行う。(R1, ケース会2回)	⑤				

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価			
自他を大切に する心や態度を 育成	②自他を大切に する心や態度を 育成	保健厚生課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
			⑥ 生徒の心身の健康問題について、担任・保護者や必要に応じて専門の相談機関等と連携し健康相談活動を行う。(R1, 5件)	⑥	(評定)		
			⑦ 毎学期1回以上学校医による健康相談を実施し、生徒の健康の保持増進に努める。(R1, 2回実施)	⑦	(所見)		
			⑧ 内科検診、結核検診、心電図検査の全員受診、二次検査対象者の全員受診を完了する。(R1 二次検査, 内科, 結核, 心電図全員完了)	⑧			
		⑨ ほげんだよりを毎月発行する。(R1, 毎月発行)健康や性に関する講演会を年1回以上実施する。(R1, 1回実施)	⑨				
		保健厚生課	活動計画	活動計画の実施状況			
			⑥ 保健室の機能を生かしながら担任、保護者と連携を図る。必要な場合はサポートセンター等専門の相談機関につなげる。	⑥			
			⑦ 希望者または必要とする生徒に対して学校医による健康相談を実施する。	⑦			
			⑧ 健康診断の結果、未受診者や二次検査が必要な生徒に対して受診指示を周知徹底する。	⑧			
		⑨ ほげんだよりを通して健康への関心を高める。定期的に健康や性に関する講演会を実施する。	⑨				
特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価				
	⑩ 「あいさつ運動」を毎週2回以上実施する。	⑩	(評定)				
特別活動課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)				
	⑩ 生徒会役員が中心となり、登校時に「あいさつ運動」を実施する。	⑩					

自己評価		学校関係者評価			次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見
社会的自立のために必要な能力や態度の育成	③社会的自立のために必要な能力や態度の育成	魅力創造課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			① 進路意識を高める行事や講演会等に主体的に参加する生徒の割合を84%以上とすることを達成する。(R元年度83.9%)	①	(評定)
		② 各学年での志望理由書に関する取り組みに対して、アンケートによる生徒の満足度を86%以上とすることを旨とする。(R元年度85.9%)	②	(所見)	
		魅力創造課	活動計画	活動計画の実施状況	
			① 「総合的な探究の時間」および「総合的な学習の時間」の計画において、生徒の実態に応じ、進路意識を高める行事や講演会等の内容の改善を図り、生徒が主体的に参加することができるようにする。	①	
		② 志望理由書に関する取り組みを2・3学年の年間計画に位置づける。各ホームルームでの事前指導を経て、志望理由書模試を実施し、事後指導の後、アンケートで生徒の満足度を確認する。2・3学年では、事前指導の中で講演会も実施する。	②		
	進路指導課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		③ 生徒に進路情報を随時提供することができたか。	③	(評定)	
	④ 最終進路先に満足する生徒の割合が90%以上、本校の進路指導に満足する生徒の割合が90%以上であったか。(R1:91%, 91%)	④	(所見)		
	進路指導課	活動計画	活動計画の実施状況		
		③ 生徒に進路情報を随時提供する。(「木鐸」年1回、職場体験やオープンキャンパス等各種案内随時)	③		
	④ 生徒の進路相談に随時応じ、丁寧な進路指導を行う。	④			
3学年共通	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
	⑤ 生徒と担任、学年団との面談を実施し、個別指導ができたか。	⑤	(評定)		
⑥ 進路に関する講演会や学年集会を通して学力向上への意欲や、望ましい職業観の確立を図ることができたか。	⑥	(所見)			
3学年共通	活動計画	活動計画の実施状況			
	⑤ 全生徒と各学期に1回以上進路や学習、生活面についての面談をする。	⑤			
⑥ 講演会や学年集会を各学年5回以上開催する。(R1:1年生14回、2年生10回、3年生10回)	⑥				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策						
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見						
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	進路指導課	<table border="1"> <tr><td>評価指標</td></tr> <tr><td>① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が30%以上、かつゼロ時間の者がゼロであるようにする。(R1:2時間以上の者の割合は40%、ゼロ時間の者の割合は1%)</td></tr> </table>	評価指標	① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が30%以上、かつゼロ時間の者がゼロであるようにする。(R1:2時間以上の者の割合は40%、ゼロ時間の者の割合は1%)	<table border="1"> <tr><td>評価指標の達成度</td></tr> <tr><td>①</td></tr> </table>	評価指標の達成度	①	総合評価 (評定)		
		評価指標									
	① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が30%以上、かつゼロ時間の者がゼロであるようにする。(R1:2時間以上の者の割合は40%、ゼロ時間の者の割合は1%)										
	評価指標の達成度										
	①										
	進路指導課	<table border="1"> <tr><td>活動計画</td></tr> <tr><td>① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。</td></tr> </table>	活動計画	① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。	<table border="1"> <tr><td>活動計画の実施状況</td></tr> <tr><td>①</td></tr> </table>	活動計画の実施状況	①	(所見)			
	活動計画										
	① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。										
活動計画の実施状況											
①											
教務課	<table border="1"> <tr><td>評価指標</td></tr> <tr><td>② 成績不振数の割合を、前年度1・2学期と比較して、減少させる。(R1:1学期は前年比較で4名増。2学期は前年比較で7名減。)</td></tr> <tr><td>③ 成績不振者に対して、休業中に基礎学力補充講座を行う。出席率を100%にする。(R1:出席率は87%)</td></tr> <tr><td>④ 授業時数確保に努め、出張・年休の授業振り替え率を90%以上にする。(R1は97.9%)</td></tr> </table>	評価指標	② 成績不振数の割合を、前年度1・2学期と比較して、減少させる。(R1:1学期は前年比較で4名増。2学期は前年比較で7名減。)	③ 成績不振者に対して、休業中に基礎学力補充講座を行う。出席率を100%にする。(R1:出席率は87%)	④ 授業時数確保に努め、出張・年休の授業振り替え率を90%以上にする。(R1は97.9%)	<table border="1"> <tr><td>評価指標の達成度</td></tr> <tr><td>②</td></tr> <tr><td>③</td></tr> <tr><td>④</td></tr> </table>	評価指標の達成度	②	③	④	総合評価 (評定)
	評価指標										
	② 成績不振数の割合を、前年度1・2学期と比較して、減少させる。(R1:1学期は前年比較で4名増。2学期は前年比較で7名減。)										
	③ 成績不振者に対して、休業中に基礎学力補充講座を行う。出席率を100%にする。(R1:出席率は87%)										
④ 授業時数確保に努め、出張・年休の授業振り替え率を90%以上にする。(R1は97.9%)											
評価指標の達成度											
②											
③											
④											
教務課	<table border="1"> <tr><td>活動計画</td></tr> <tr><td>② 授業やホームルーム、集会等で学習意欲を喚起させるとともに、授業態度や提出物等の指導を徹底する。</td></tr> <tr><td>③ 夏季及び冬季の長期休業中に基礎学力補充講座をそれぞれ3日間実施し、学力の補充に努めさせる。</td></tr> <tr><td>④ 行事などの精選を図るとともに、自習を減らし、授業振り替えをする。</td></tr> </table>	活動計画	② 授業やホームルーム、集会等で学習意欲を喚起させるとともに、授業態度や提出物等の指導を徹底する。	③ 夏季及び冬季の長期休業中に基礎学力補充講座をそれぞれ3日間実施し、学力の補充に努めさせる。	④ 行事などの精選を図るとともに、自習を減らし、授業振り替えをする。	<table border="1"> <tr><td>活動計画の実施状況</td></tr> <tr><td>②</td></tr> <tr><td>③</td></tr> <tr><td>④</td></tr> </table>	活動計画の実施状況	②	③	④	(所見)
	活動計画										
	② 授業やホームルーム、集会等で学習意欲を喚起させるとともに、授業態度や提出物等の指導を徹底する。										
③ 夏季及び冬季の長期休業中に基礎学力補充講座をそれぞれ3日間実施し、学力の補充に努めさせる。											
④ 行事などの精選を図るとともに、自習を減らし、授業振り替えをする。											
活動計画の実施状況											
②											
③											
④											

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	国語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)
			⑤ 漢字・語彙テストの平均得点率7割以上の者を85%以上にする。(R1:80%)	⑦	
			⑥ 授業評価アンケートの「教科に関する興味・関心」「充実度」がある生徒の割合95%以上を目指す。(R1:95%)	⑧	
		⑦ 授業評価アンケートの「宿題をしている」生徒の割合を80%以上にする。(R1:80%)	⑨		
		活動計画	活動計画の実施状況		
		⑤ 漢字yaを家庭学習させて週に1回確認テストを実施する。2,3年生は古文単語テストも実施し、合格しなかった者には繰り返し取り組ませる。	⑦		
	⑥ 協働学習や発表により達成感や充実感を味わわせる。便覧・資料等を活用してより深く興味・関心を引き起こし、積極的な授業参加ができるよう配慮していく。	⑧			
	⑦ 授業の目標を明確にし、授業の内容にあったプリントや週末課題を配付し、家庭学習の習慣を身につけさせる。プリントや週末課題はファイルし、提出させて評価する。	⑨			
	地歴・公民科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
⑧ 授業評価の「興味・関心」「充実度」で、8割以上の生徒が満足することで、基礎的・基本的な学力の育成をはかる。(R1:84%)		⑧			
⑨ 基礎的・基本的な学力を身につけさせるために、定期的にノート、プリント等を提出させる。提出率を100%にする。(R1:100%)		⑨			
地歴・公民科	活動計画	活動計画の実施状況			
	⑧ 毎時間、時事問題や対話的な学びを取り入れ、生徒の興味・関心を高めるとともに、能動的に学ぼうとする姿勢をはぐくむ。	⑧			
	⑨ 基礎基本の定着をはかるため、定期テストごとにノートを提出させ、未提出の者には提出を促す。ノートを効率よくとれるよう板書計画を吟味する。	⑨			

己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	数学科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			⑩ 1, 2年生の授業における小テストの正答率を70%以上にする。(今年度から開始)	⑩	(評定)
		⑪ 学年全員が履修する数学Ⅰの授業評価アンケートにおいて、授業に興味・関心を持った生徒の割合を80%以上にする。(R1:82%)	⑪	(所見)	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		⑩ 週に1度の予定で実施する。課題を事前に配布し、家庭で学習してから小テストを受ける流れを確立させることにより、基礎学力の向上につなげる。	⑩		
		⑪ 毎時の目標を明確に示すとともに発問を多くしたり、協働学習を取り入れるなど、全員が授業に積極的に取り組んでいる態勢をつくる。	⑪		
	理科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		⑫ ノート、プリント、課題、テスト直し等の提出・確認を細かく行い、その提出率を95%以上にする。(R01:97%)	⑫	(評定)	
		⑬ 社会で取り上げられる理科関連のニュースを授業で取り上げることで、学習内容が現実社会と密接に関連していることを理解させ、学習意欲の向上に繋げる。	⑬	(所見)	
	⑭ 生徒がやる気を持って試験に臨み、満足できる得点がとれるためのサポートを、必要に応じて考査前に行う。また、年度末の欠点取得者をゼロにする。(R01:1%)	⑭			
	理科	活動計画	活動計画の実施状況		
		⑫ 一般用語、一般常識の理解定着を目指すためのきめ細かい指導と解説を行う。必要であれば小テストを行い定着率を確認する。ノートを効率よくとれるよう板書計画を吟味し、生徒のノートの定期的な提出と確認を行う。また、検印するなど後から確認できるようにする。	⑫		
⑬ ニュース・新聞等の記事から授業内容に即する内容でプリント等を作成する。記事中の単語、内容の解説を行い、基礎的な科学的知識の習得に努める。月2回程度の取り組みを目指す。		⑬			
⑭ 生徒が試験勉強に取り組みやすいよう、出題範囲と出題傾向を適切に伝え、効率良い勉強方法を伝授するとともに、学習努力が得点に繋がる出題を心掛ける。また、必要に応じてテスト前に補習等も行う。		⑭			

己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	学校関係者の意見	今後の改善方策
基礎学力の向上を目指す	④ 基礎的・基本的な学力の育成	英語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			⑮ 1年生の各学期末で80点以上（評定5）の生徒を30人以上にする。（R1:1学期32名, 2学期24名）	⑮	(評定)
			⑯ 2年生の各学期末で80点以上（評定5）の生徒を30人以上にする。（R1:1学期47名, 2学期28名）	⑯	(所見)
		⑰ 3年生の1, 2学期末で80点以上（評定5）の生徒を40人以上にする。（R1:1学期79名, 2学期62名）	⑰		
		英語科	活動計画	活動計画の実施状況	
		⑮ ・授業でポイントをよく理解させる。 ・繰り返し暗唱・復習することを奨励する。 ・小テストの結果を集計・追跡し、評価の一部に加味するとともに個人の指導に生かす。 ・「English for Tomorrow」（中学校復習教材）を週末課題とし、計画的に取り組ませる。また、自主学習を促す。	⑮		
⑯ ・授業でポイントをよく理解させる。 ・単語テストを実施し、語彙力をつける。 ・テスト対策プリントで、考査前にポイントを復習させる。	⑯				
⑰ ・授業でポイントをよく理解させる。 ・繰り返し暗唱・復習することを奨励する。 ・小テストの結果を集計・追跡し、評価の一部に加味するとともに個人の指導に生かす。	⑰				

己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	学校関係者の意見	今後の改善方策
基礎学力の向上を目指す	④ 基礎的・基本的な学力の育成	総務課図書	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)
			⑱ 全校読書会や読み聞かせの会などの図書関連行事を実施する。	⑱	
			⑲ 家庭での平均読書時間10分以上の者30%以上にする。		
			⑳ 図書館の一日平均入館者数を10人以上にする。	⑳	
			㉑ 一日平均貸出冊数を5冊以上にする。	㉑	
		㉒ 名高ライブラリーを毎月発行する。	㉒		
		活動計画	活動計画の実施状況		
		⑱ 全校読書会や読み聞かせの会の実施案内を教室に掲示し、積極的な参加を促す。参加した生徒が次回も参加したいと思えるような企画にする。	⑱		
		⑲ 図書館や学級文庫にリクエスト本を購入し、蔵書の充実を図り、「朝の読書」の取り組みを十分に生かすことで、家庭での読書時間を増やしていく。	⑲		
		⑳ 図書室前の掲示板でおすすめ本を紹介し、図書館の本をテーマ別に紹介して、入館者数の増加を図る。	⑳		
㉑ 教科・科目と連携して推薦本を紹介し、さまざまなジャンルの本に興味・関心を持たせ、貸出冊数の増加につなげていく。	㉑				
㉒ 名高ライブラリーを教室掲示するとともに、HPにも掲載する。	㉒				

己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	学校関係者の意見	今後の改善方策
活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成	⑤活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成	特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			① 自主的にボランティア活動を行った生徒が、全校生徒の60%以上だったか。(R1 52.8%)	①	(評定)
		特別活動課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)
			① 全校生に趣旨の徹底をはかるとともに自発的などりとくみを推進する。	①	
	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		② 美術や書道作品の校内展示を通して、生徒の情操教育や豊かな感性の伸長を図る。	②	(評定)	
	芸術科	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
		② 県内唯一の芸術科を持つ学校としてその有利性を発揮し、校内に美術・書道の常設展示を行い、学期に1回以上展示替えを実施する。(R1 美術・書道併せて23回)	②		
	特別活動課	特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			③ 全国大会に2名以上、四国大会に10名以上の出場を目標とする。(R1. 全国13名、四国30名)	③	(評定)
		④ 高文祭では全国大会に3部以上、各種大会・コンクールについては全国規模の入賞・入選数70を目標とする。(R1. 高文祭4部門、入選76)	④		
		特別活動課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)
③ 四国総体、全国総体が中止という状況だが、体育部の活動者数を増やし、大会参加や活動の機会を増し、粘り強く指導する。	③				
④ 文化部の活動者数を増やし、大会参加や活動の機会を有効活用し、粘り強く指導する。	④				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	学校関係者の意見	今後の改善方策
活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成	⑤活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成	国際交流課 英語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			⑤ 外国の文化・慣習等に興味・関心を持ち、国際交流への意識を高めた生徒の割合を60%以上にする。(R1:71.0%)	⑤	(評定)
			⑥ 生徒の国際理解を深めるために、全校生徒対象の講演会等を1回以上開催する。(R1:3回)	⑥	(所見)
		⑦ 海外留学やホームステイ、国内での英語を使った交流体験など、国際交流事業への情報を最大限提供する。(参考：R1国際交流への参加者18名)	⑦		
		国際交流課 英語科	評価計画	活動計画の実施状況	
		⑤ A L T の授業を全クラス最低2週間に1回は行う。	⑤		
⑥ 外国の方や海外経験の豊富な日本人を招き講演会を実施する。	⑥				
⑦ 国際交流の募集案内を全校生徒に積極的に行うとともに、生徒の進路に応じて個別に相談を行う。	⑦				

己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	学校関係者の意見	今後の改善方策	
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	総務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評価)	
			① 保護者と生徒、教職員が協力して校外清掃奉仕活動や、校内美化活動を行う。	①		(所見)
			② 文化祭・体育祭に、P T A役員を中心として多くの保護者が参加し、教職員と連携して生徒の諸活動を支える。	②		
			③ 校外における各種研修、大学訪問研修に多くの保護者が参加し、諸問題について理解を深める。	③		
			④ 全会員にP T Aの活動についての報告・広報を年間5回以上する。	④		
		⑤ 藤花同窓会と学校が連携して充実した同窓会活動を実施する。藤花同窓会の活動について、在校生や地域に周知・広報し、総会・懇親会に多くの会員が参加する。(R元年度総会27名・懇親会97名参加)	⑤			
		総務課	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 石井駅周辺の通学路、及び校内の美化活動への参加を呼びかける。(R元年度参加者3名)	①		
			② 文化祭での模擬店出店、体育祭での麦茶・スポーツドリンク提供について、全保護者に参加を呼びかける。(R元年度模擬店・麦茶提供延べ53名参加)	②		
			③ 徳島県高等学校P T A連合会、生徒指導連絡協議会等の総会・研修会等への参加について、適宜ご案内する。また、大学訪問を実施し、進路についての理解を深める。(R元年度校外研修8名参加、大学訪問は参加希望者少数のため中止。)	③		
④ P T Aに関する事業報告・事業計画は、5月の総会中止に伴い、4月の第1回役員会で提案・決議するとともに、総会の決議に代え、全会員に書面にて報告する。また、ホームページに、年間の行事や活動への参加案内、及び活動の様子や報告を掲載する。	④					
⑤ 10月の藤花同窓会総会・懇親会では、役員及び卒業30周年の会員を中心に参加を広く呼びかける。諸活動の円滑な実施のため、役員会を年3回開催する。卒業式前日に同窓会入会式を実施して、各ホームルーム理事に委嘱状を手渡し、同窓会会員となる自覚を促す。	⑤					

自己評価		評価指標と活動計画			評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	学校関係者の意見		
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	教務課	⑥ 「入学案内」について、本校教育の内容をわかりやすくまとめ、説明会等の資料として積極的に活用する。	⑥	(評定)			
			⑦ 体験入学等の参加生徒や保護者に、本校の教育内容や特色をわかりやすく説明する。R元体験入学アンケート結果（よい以上-生徒92%、教員・保護者84%）を上昇させる。	⑦				(所見)
		教務課	活動計画	⑥ 「入学案内」の構成や情報内容を改良するとともに、最新の情報に更新していく。また、依頼のある中学校には配布する。	⑥			(所見)
			⑦ 学校説明会、体験入学、HP等を通じて、本校教育の特色など本校に関する情報を提供し、中学生に進路選択に活用してもらう。体験入学の際にアンケートを実施する。	⑦				
		教務課 教育情報	評価指標	⑧ 学校行事や部活動等の様々な取組みをホームページで頻度多く掲載する。月に12回以上の更新を行う。（昨年度最少更新月回数8回）	⑧			(評定)
		教務課 教育情報	活動計画	⑧ 各課に更新作業の出来る教員を増やし、学校行事や部活動の取り組み等を紹介する。	⑧			(所見)
	魅力創造課	評価指標	⑨ 「教科ルーブリック」を作成し、本校の教育実践をわかりやすくまとめ、在校生、入学希望者やその保護者に配布し、周知する。	⑨	(評定)			
		⑩ オープンスクールの参加生徒や保護者に、本校の教育実践をわかりやすく説明する。	⑩	(所見)				
	魅力創造課	活動計画	⑨ 「教科ルーブリック」の構成や内容を見直すとともに、修正する。	⑨	(所見)			
		⑩ オープンスクール、HP等を通じて、授業（パフォーマンス課題を取り入れたもの）に関する情報を提供し、中学生に参観してもらう。	⑩					

己 評 価		学校関係者評価		次年度への課題と		
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	今後の改善方策
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			⑪ 展覧会・音楽会等の広報活動（ホームページ・ポスター・新聞）を迅速に行い、在校生徒や多くの観客を展覧会・演奏会に動員する。	⑪		
		⑫ 県内唯一の芸術科を有する学校として、地域社会と連携し生徒の技術力をいかした芸術・文化の発信に寄与する。	⑫			
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	芸術科	⑪ 地域社会での文化祭、展覧会、文化行事などに年間3回以上参加する。	⑬			
		⑫ 地域社会と連携し、校内外で展覧会・演奏会を年間3回以上実施する。オープンスクールで芸術科部活動見学会を実施する。	⑭			
	生徒指導課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
		⑬ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して地域の安全のため、パトロールや挨拶運動、美化活動を年30回以上実施する。（R1は32回）	⑬			
	生徒指導課 家庭クラブ	⑭ 交通安全キャンペーンを年2回以上実施し、交通マナーの向上と地域の交通安全に貢献する。（R1は2回）	⑭	(所見)		
		活動計画	活動計画の実施状況			
生徒指導課	⑬ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーン、挨拶運動を適宜実施する。	⑬				
	生徒指導課 家庭クラブ	⑭ 徳島名西署と連携を図り、交通委員会がキャンペーンを実施する。また秋の交通安全キャンペーンでは学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。	⑭			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見
文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	⑦文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	教務課 教育情報	評価指標 ① 各行事の結果等については、実施日から3日以内の更新を心掛ける。生徒の活動の様子等の紹介を月3回程度を目標に更新する。(令和元年度最少月更新数1回)	評価指標の達成度 ①	総合評価 ¥
			活動計画 ① 行事の記録を確実にし、タイムラグなく地域に発信を行う。そのために情報発信に関する研修を行う。	活動計画の実施状況 ①	
		芸術科	評価指標 ② リーディングハイスクールの取り組みを通して、音楽・美術・書道の技術力を活かした活動を積極的に校外・地域へ発信する。異校種間交流を音楽・美術・書道で年1回以上実施する。 ③ 芸術科の各行事や取り組みを、ホームページやさまざまな機会を通じて効果的に案内・広報を行う。	評価指標の達成度 ②	総合評価 (評定)
			活動計画 ② 校内での演奏や作品展示をはじめ、校外での演奏会や作品展を実施し、生徒の持つ芸術力をアピールする。異校種間での作品交流等とおして芸術科の持つ魅力を発信する。 ③ 芸術科の各行事や取り組みを、音楽・美術・書道それぞれが迅速にホームページを更新し、積極的に地域に案内・広報を行う。	活動計画の実施状況 ②	

己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
防災・安全教育の徹底と環境教育の推進	⑧防災・安全教育の徹底と環境教育の推進	総務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
			① 避難訓練を年2回実施する。	①	(評定)	
			② 外部機関と連携した防災教育を実施する。	②	(所見)	
			③ 防災クラブの活動を十分に行う。	③		
			活動計画	活動計画の実施状況		
			① 緊急時に適切な行動がとれるようにするため、地震・火災を想定した避難訓練を実施する。	①		
	② 安全確保に対する意識を高めるため、防災教育を充実させる。	②				
	③ 防災クラブの活動として、1・2学期末に防災活動を積極的に行う。	③				
	環境課			評価指標	評価指標の達成度	総合評価
				④ ゴミの分別をすることがECOにつながることを自覚させる。	④	(評定)
				⑤ 環境を整え学習効果をあげるとともに、美化を推進する。	⑤	(所見)
				⑥ 地域の美化に貢献する気持ちを育て、奉仕の精神を養う。	⑥	
活動計画				活動計画の実施状況		
④ ゴミ分別チェックを実施する。				④		
⑤ 月に1回大掃除を実施する。	⑤					
⑥ 1, 2学期末に校外奉仕活動を積極的に行う。	⑥					